

チリ政治情勢報告（12月）

平成29年1月

1. 概要

（1）内政では、野党会派「Chile Vamos」の最大政党である独立民主同盟党（UDI）の党首が任期満了に伴い交代したほか、バチェレ大統領が第9州（アラウカニア州）を訪問し、「アラウカニア顧問会議」に出席した。

（2）外交では、バチェレ大統領がアルゼンチンを公式訪問し、マクリ亜大統領と会談したほか、チリーアルゼンチン閣僚会合が実施された。

（3）1月5日発表のAdimark GfK社調査による12月のバチェレ大統領の支持率は26%（前回比+2ポイント）、不支持率は71%（前回比+1ポイント）であった。

2. 内政

（1）任期満了に伴うUDI党首の交代

11日、野党会派「Chile Vamos」の最大政党である独立民主同盟党（UDI）の党首選挙が実施され、ライセルベルゲ上院議員が新党首に選出された（1月7日に就任、任期2年）。これまでUDIの党首選挙は政党幹部のみによる投票で選出されていたが、プロセスが不透明であり、非民主的であるとの批判があったことから、今般選挙では初めて、全党員に投票権が付与された。「ラ」次期党首は、全投票（4245票、全党員の約10%）のうち62.4%の得票率で、対立候補であったベジヨリオ下院議員（37.6%）を破り当選した。

「ラ」次期党首は、これまで、フアン・アントニオ・コロマ上院議員、ロンゲイラ元経済大臣、ノボア元上院議員ら、軍政期からUDIを支えてきた重鎮政治家らと深い親交をもっており、「ラ」次期党首も、市場経済やカトリックの伝統的な価値観を重視する最保守層に近い立場をとる。

（2）バチェレ大統領による第9州訪問

26日、バチェレ大統領が第9州（アラウカニア州）を訪問し、州庁舎で行われた「アラウカニア顧問会議」に出席した（フェルナンデス内務大臣、カステイジョ保健大臣、パスクアル女性・ジェンダー平等大臣等の閣僚5名が同行）。「アラウカニア顧問会議」は、マプチェ族関連の先住民政策について協議するために本年7月に政府により設立され、エクトル・バルガス同州司教が議長を務める。同会議には、州知事、有識者、学者、市民団体関係者、企業の代表等21名が参加している（26日の会議にはそのうち11名が出席）。「バ」大統領が公務のため同地域を訪問するのは4度目。同大統領は、先住民に対する

認識の改善や土地の分配等の分野を網羅した「アラウカニア法」(ley Araucania)を作成する意向を表明した。また、その中で国会に先住民枠の議席を設ける規定等も盛り込む考えであることを明らかにした（なお、これらの方針は、「バ」大統領が就任後初めて先住民政策に言及した2014年6月以降、累次にわたり表明してきたもの）。

3. 外交

(1) バチエレ大統領のアルゼンチン訪問及びチリ・アルゼンチン閣僚会合の開催

ア バチエレ大統領とマクリ亜大統領の会談

16日、バチエレ大統領がアルゼンチンを公式訪問した。また、同日チリーアルゼンチン閣僚会合が開催されたことから、チリから18名の閣僚が同行した。「バ」大統領とマクリ大統領の会談後には共同記者会見が行われ、「バ」大統領は「今後も両国間の友好関係を深め、共に前進するために努力していく」と発言した。また、現在チリが太平洋同盟議長国を務めているが、12月にアルゼンチンがメルコスール議長国に就任したことから、両ブロックの協力推進の重要性を強調すると共に、「我々は、アルゼンチンが太平洋同盟加盟国となれるか高い関心をもって見ている。太平洋同盟はメルコスールと緊密に連携していくが、特に、アルゼンチンが太平洋同盟の加盟国となることは重要だろう」と述べた。これに対し「マ」亜大統領は、「アルゼンチンはメルコスール議長国であり、どのように太平洋同盟との関係を深化できるか検討する」と述べた。

イ 第8回チリーアルゼンチン閣僚会合及び第6回州知事会合

同日、ムニョス外相とマルコーラ亜外相により第8回チリーアルゼンチン閣僚会合及び第6回州知事会合が開催され、チリから18名の閣僚が出席した。同会合では、以下の合意文書に署名された（主要なものを抜粋）。

- (ア) 両国の南極研究所における協力に関する覚書
- (イ) 環境影響評価及び戦略的環境評価に関する覚書
- (ウ) 観光の質の向上に向けたプログラム策定に関する趣意書
- (エ) 中小企業振興のための協力に関する共同宣言

(2) 第3回米チリ・ハイレベル政策対話の実施

14日、サンティアゴにおいて、リベロス外務次官及びシャノン米國務次官が筆頭となり第3回米チリ・ハイレベル政策対話を実施された。同政策対話は2013年6月に開始され、今般の会合では査証免除（ビザ・ウェーバープログラム）、科学協力、経済・貿易関係の他、コロンビア和平、ハイチ情勢、ベネ

ズエラ情勢，中米のための協力といった地域情勢に関するテーマにつき協議が行われた。その後，「シャ」米国務次官はムニョス外相と会談し，両者は犯罪人引き渡し条約を批准した。